



製品カタログ

Infor Supplier Exchange for Automotive

すべてのサプライヤと連携する

Infor® Supplier Exchange for Automotiveは、貴社の既存のエンタープライズ・リソース・プランニング（ERP）システムと連携して、あらゆる自動車サプライヤ（ロジスティクス・サービス・プロバイダ、外注加工業者、部品サプライヤ、組立部品サプライヤなど）とのオンライン・コラボレーションを支援するWebベースのソリューションです。

本ソリューションは、シグマ・シックス・イニシアチブに対応し、OEMのコミュニケーション要件や、自動車サプライヤの品質要件（IATF 16949、MMOG-7、\$.C.O.R.E./\$.C.O.P.E.など）に準拠しています。また、Supplier Exchangeは、多通貨と多言語をサポートしています。

本ソリューションは、オンプレミスまたはクラウドで実装することが可能であり、貴社やサプライヤがどこにいるかに関わらず、現在そして将来にわたってすべての顧客の要望に応えることが可能になり、競争優位に立つことができます。

変化し続ける要求に 迅速に応える

Supplier Exchangeは、自動車サプライヤの変化し続ける要件に合わせて、速やかに調整することができます。つまり、消費者の需要の変化に迅速に対応し、顧客の期待に的確に応えられるということです。

Supplier Exchangeがあれば、貴社とサプライヤとの間で、出荷と請求、サプライヤのパフォーマンス指標、補充に関する情報をリアルタイムに双方向で連携することができます。

■ 3,000社以上の自動車関連サプライヤが、インフォアのソリューションを使用しており、そのうち80社は世界トップ100に入る自動車サプライヤです。

サプライチェーンのリアルタイムな連携

もしも部品や組立品の数を20%増やして、今日中に出荷するように顧客が要求した場合、対処できるでしょうか？ジャストインタイム（JIT）方式の製造環境では、注文を満たすだけの十分な部品や原材料が手元にないかもしれません。あるいは、サプライヤが突然、重要な部品や材料を供給できなくなり、注文を満たせない可能性もあります。

Supplier Exchangeを使えば、顧客の注文を納期通りに出荷するために部品や材料が追加で必要になった場合に、サプライヤと直接連携することが容易になり、可能な限り迅速にこれらを手入するための最適かつ最も効率的な方法を見つけることができます。堅牢なソーシャルコラボレーションツールを使って、サプライヤとリアルタイムに直接接続できるため、重要な詳細情報（数量、仕様、出荷指示など）をサプライヤに即座に伝えることができます。また、Supplier ExchangeはInfor ION®フレームワークを使って統合を簡素化しており、サプライヤと社内ユーザーの両方が利用できるように、異なるERPシステムからの情報を1つの共通ビューにまとめることができます。

Supplier ExchangeのRFQモジュールは、従来型オークション、封印入札オークションや逆オークションを管理することが可能です。Supplier Exchangeで見積依頼（RFQ）が作成されると、RFQモジュールは、入札プロセスを通して、選定されていないサプライヤと選定されたサプライヤに通知します。さらにRFQモジュールでは、バイヤーとサプライヤが添付書類を送ることが可能であり、1対1の交渉や、サプライヤからの質問とバイヤーの回答を支援します。

今日のペースの速い環境では、自動車サプライヤは、電話やEメールなどの非効率的なコミュニケーション手段による遅延の発生を許容できません。Supplier Exchangeから得られるサプライチェーンデータのインサイトを活用すれば、変化に即座に回答して対策を講じることができます。

電子データ交換の統合

サプライヤの中には、電子データ交換（EDI）を使っていないがために、電子情報交換によるリアルタイムな注文機能などのメリットを活かせていない企業もあります。Supplier Exchangeは、M2M（マシン・ツー・マシン）のEDIを完全統合しており、その他のWebベースの通信システムや自動FAX機能にも対応しています。つまり、貴社のサプライヤがEDIを使用してもいなくても、通信を100%電子化できるようになり、毎月のVAN（付加価値ネットワーク）使用料を削減することができます。

また、こうした機能があれば、数量や仕様などの重要な詳細情報を正確に伝達し、出荷通知や請求を自動化することができます。そして、情報交換が格段に速くなり、データ品質が向上することで、スピードと精度が上がります。さらに、こうした情報を手作業で追跡して、正しい形式であるかどうかの確認を行っていたリソースを解放することで、結果的にコストを削減することもできます。おそらく最も重要なことは、データ交換を自動化することで、注文処理と納品にかかる時間を大幅に短縮できることです。

パフォーマンス管理

Supplier Exchangeがあれば、サプライヤのパフォーマンスとコンプライアンスを自動的に追跡して、サプライヤとの関係を簡単に評価することができます。サプライヤの実績データを手作業で収集して計算する時間と労力を省くだけでなく、出荷、受入、品質やその他のイベントに関するアラートや例外に対して、サプライヤが迅速に対応できるようになります。

次のようなサプライヤのパフォーマンス指標とKPIを監視することができます。

- サプライヤの評価
- サプライヤのアクション計画
- 是正措置
- 根本原因
- 欠陥材料通知（DMN）
- 配送能力評価（DPR）
- 生産部品承認処理（PPAP）

こうした情報を使用して、サプライヤのパフォーマンスを長期的に評価し、供給の中断や遅延を起こす可能性の高いサプライヤを特定することができます。信頼できるサプライヤを選択し続けることで、緊急配送や生産のダウンタイム、失注に伴う不測のコストを削減することができます。

補充

Supplier Exchangeのプル型の補充手法は、個々のサプライヤや部品に最も適合するように設計されています。各部品がどのように使用・消費されているかによって、部品を柔軟に管理することが可能です。具体的には、リリース計画、購買注文、一括購買注文、希望購買注文、カンバン、サプライヤ管理在庫 (SMI) などがあります。

ワークフローを設定し、計画とスケジュールを管理することで、問題があればプロセスの早い段階で検出し、納品に影響が出る前に自動的にアラートを通知します。また、イベント通知ルールを設定することで、サプライヤ別、部品ファミリー別、または品目レベル別にやり取りを管理することができます。さらには、複数の部門や世界中の拠点間で、すばやくドキュメントを回覧・承認できるように、ワークフローを自動化することも可能です。Supplier Exchange内でトランザクションが発生した瞬間に、貴社の企業データは同期され、更新されます。

サプライヤとリアルタイムに連携して補充し、サプライチェーン全体でプロセスを標準化し、戦略的な調達の意味決定をリアルタイムな情報に基づいて行うことによって、業務効率を大幅に向上させ、納品を迅速化し、コストを削減することができます

Supplier Exchangeがあれば、より少ない労力でより多くの情報を得て、サプライヤのパフォーマンス指標と補充ワークフローを合理化できます。また、利用可能なすべての在庫を可視化することで、高いパフォーマンスレベルを効率的に維持することができます。

利点:

- OEMのコンプライアンス要件に準拠
- カンバンやSMIなど、複数のプル型補充方式を実装
- 注文処理と納品までの時間を短縮
- サプライヤの実績とコンプライアンスのデータを使用して、最も信頼できるサプライヤを特定
- 潜在的な問題が発生する前に自動的にアラートを受信
- サプライチェーン全体でのビジネスプロセスとシステムを標準化

サプライチェーンのスピードと精度の向上

データ品質の高い情報をサプライチェーン全体でリアルタイムに交換できることは、スピードと正確性の改善に不可欠です。

Infor Supplier Exchange for Automotiveは、変化する顧客の要件によりすばやく対応し、運用効率を高め、サプライチェーンコストを低減するためのツールを提供します。

[詳しくはこちら](#) 



インフォアは、業界特化型のビジネスアプリケーションをクラウドで提供しています。17,000人の社員が、170か国以上で67,000以上のお客様を支援しています。インフォアのソフトウェアは、お客様の業務の進化に向けたデザインとなっています。